

11月8日 上野区民館にて

安心して利用できる鉄道と 全ての仲間の働きがいを実現する11・8集会

開催!

集会アピール

JR東日本輸送サービス労働組合は「安全性・専門性・人間性を無視したジョブローテーションには反対!! 安心して利用できる鉄道と全ての仲間の働きがいを実現する11・8集会」を開催し、多くの組合員が注目する今集会を全国へリモート配信をおこない、270名の仲間が結集した。そして、新たなジョブローテーションを悪用した「強制配置転換」を直ちに止め、全ての仲間の働きがいを実現するために、JR東日本輸送サービス労働組合の総力を挙げてたたかい抜くことを全集会参加者で確認した。

2020年4月1日、「新たなジョブローテーション」が「施策」として実施された。この施策は「駅から運転士までの一律的なキャリアステップを見直し、新たなジョブローテーションを実施する。新たなジョブローテーションでは、社員がもつ様々な能力を余すことなく発揮でき、かつ、主体性をもって業務に挑戦できる環境を整えていくこととする」として提案・実施されたものだ。

しかし、4月1日以降の相次ぐ「ジョブローテーション異動」は、提案時に会社が掲げた目的とは大きくかけ離れ、10月期の異動までの間に40件を超えた簡易苦情申告の数が証明するように、施策の異常性が明らかになっている。そこには、会社の言う将来への希望とは相反し、私たちの中には不安が残っていない。自己申告書に基づく面談すら無意味と化し、異動の恣意とは名ばかりの「お前の異動は俺が決めてやる。早く出ていけ」などと人間性を否定して、会社に対する「命令と服従」の関係を強要するための道具として存在する「新たなジョブローテーション」に、JR東日本輸送サービス労働組合は明確に反対の立場を明らかにする。

一方で「ジョブローテーション異動」は新たな問題も発生させてしまった。それは、120件の年休時季変更権の行使と月間60件に迫る休日勤務の発生という職場現実からも明らかのように、誰も望んでいない強制配置転換によって、要員がひっ迫した職場実態をつくり出してしまっているのだ。この時季変更権行使の背景には、JTSU-E組合員を差別する動きも明らかになっている。しかし、労働組合差別・排除にひた走り、人間らしく生活する権利すら奪おうとするJR東日本の経営姿勢の誤りは、多くの仲間が見抜いている。私たちは、会社にとって都合よく利用される「モノ」ではない。JR東日本の発展のために職場から日々の業務を担う社員であり、自らの幸福と家族の生活を支える一人の人間なのだ。コロナ禍で注目されたエッセンシャルワーカーは「人」が持つ力を証明した。これこそが、JR東日本の第2四半期決算で明らかにされた「赤字決算からの脱却」と「黒字基調の健全経営」を実現するための「力」であり、カギになることは間違いない。しかし、人の力を見限り、人を大切にすることを忘れてしまったJR東日本には未来があるのだろうか。会社経営の誤りを質し、私たちが働き続けられる働きがいのある職場を守り抜くために、職場の全ての仲間と連帯した大きな闘いのうねりをつくり出すことを全組合員に要請する。

日本社会は、新型コロナウイルス感染症拡大によって大きな転換期を迎えている。リモートワークをはじめとする働き方の多様化は、「日本型雇用慣行（新採一括採用、終身雇用、年功賃金）」の見直しにも直結すると言っても過言ではない。このまま、希望が一切反映されない新たなジョブローテーションが今後も強行されれば、日本企業の多くが日本型雇用慣行の破壊を正当化するために、専門性の向上という大義名分のもとで「ジョブ型雇用」へ転換しようとする流れに引きずり込まれ、熟年労働によって蓄積される鉄道の安全そのものが崩壊の道を突き進むことになるのだ。JR東日本会社による労組対策偏重の常識を逸脱した人事異動が行なわれることで、鉄道の安全とその先にある利用者にとっての「安心」を奪い取ることなどあっていいはずがない。

JR東日本輸送サービス労働組合は「全ての仲間のため」にたたかうことを止めない! そのために、鉄道の安全と安心を喪失させる「新たなジョブローテーション」の中止を求める。そして、「新たなジョブローテーション」の実施に関する実態調査アンケートを通じて、全組合員の手で新たなジョブローテーションの欺瞞性を暴き出し、コロナ後の新しい時代を考え、JR東日本という鉄道会社が持つ社会的使命と輸送サービス事業に相応しい「働き方」と「雇用のあり方」の検討を開始することを全組合員に訴える。

私たちは、強制配置転換によって異動した仲間の想い、それを支えた職場からのたたかひの教訓を胸に、安全性と専門性を守り、安心して利用できる鉄道と全ての仲間の働きがいを実現するためにたたかう。そして、JTSU-E運動の規制・排除に抗し、全ての仲間と家族の幸福を実現するために、全職場からJTSU-E運動を堂々と推し進めていこうではないか。

2020年11月8日

安全性・専門性・人間性を無視したジョブローテーションには反対!!
安心して利用できる鉄道と全ての仲間の働きがいを実現する11・8集会

安全性・専門性・人間性を無視した ジョブローテーションには反対! 施策の中止・見直しを求めます!

270名の仲間が結集! 15名の仲間より、問題点や恣意について怒りの声が発言される!